

地域と学校の協働通信

令和元年7月17日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
第1号

■ 地域のでよりよい教育活動を

～地域コーディネーターがつなぐ地域と学校～

近年、少子高齢化や情報化の中で子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、学校の抱える課題は複雑化多様化しています。こうした状況の中で、未来の地域の担い手である子どもたちのよりよい成長のためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働していくことが大切です。



武蔵野市教育委員会は、平成28年4月より「地域コーディネーター」を各校に1名ずつ委嘱しています。地域コーディネーターの大きな役割は、①学校と話し合い、学校のニーズを理解したうえで情報を集め、学校と地域が連携した教育活動等を提案すること。②企業や地元商店、地域の協力者の貴重な力を学校の授業などに活かすようにすること。③地域の中の様々な経験や技能をもつ方に講師依頼をしたり、事業所に職場体験学習の依頼をしたりするなど、地域の方と学校をつなぐことです。

また、「誰かがやってくれる」のを待つのではなく、保護者も含めた地域の皆さん一人ひとりが当事者として子どもたちを育てていく—そういう「志」をもった方々と共に学校をよりよくしていきたい、元気な地域を創っていきたくと思っています。

そのために、この度、これまで発行していた「教育推進室だより」をリニューアルし、「地域と学校の協働通信」として発行していくこととしました。地域と学校が連携した教育活動の様子などを、できるだけ具体的に紹介していきます。

18名の地域コーディネーターとともにぜひ皆さんのお力を学校や地域へ、そして、地域と一体となった教育活動を実現するために御協力をお願いします。

■ 教育推進室では、地域コーディネーターとともに、地域と学校の連携・協働を推進しています。

1 教育推進室では……

- ◇学校教育に関心のある方やサポートして下さる方の募集と登録をし、学校に紹介しています。
- ◇地域コーディネーター連絡会を開催し、研修や他市区の取組の情報交換などを行っています。

2 地域コーディネーターは……

- ① 学校に地域の情報提供をするなど、学校と地域のパイプ役を担っています。
- ② 専門的な技術・資格・経験などをお持ちの方を、総合的な学習の時間などのゲストティーチャーとして学校に紹介しています。
- ③ 中学生の職場体験先を開拓したり、体験先との連絡調整を行ったりしています。
- ④ 子どもたちの見守りや登下校の安全誘導の声掛けの協力を地域の方々に依頼しています。



地域コーディネーターが活躍しています！

先生と一緒に、職場体験受入れ先事業所リストを作成

武蔵野市立中学校では、2年生が3日間職場体験学習を行っており、今年もすでに始まっています。



第五中学校で、先生と地域コーディネーターが体験先の割振り作業を行っている様子

中学生の職場体験を受け入れてくれる市内および近隣地域にあるお店（飲食店や衣料品店等）・病院・警察署・消防署・市役所・印刷会社・保育園・幼稚園等に地域コーディネーターが出かけ、協力をお願いしています。そして、それらの情報を持ち寄り、先生と一緒に生徒の要望に合った協力店の割振りをしています。

警察署と地域の方々の連携による自転車安全教室・自転車点検の開催

年1回春に、武蔵野警察署交通課・PTA・青少協・市民社協・交通安全協会・地域有志等の協力者が共催する自転車安全教室が境南小学校の校庭を利用して、開催されています。

また、同時開催で自転車店の協力を得て、自転車の点検活動もしています。

当日は、地域コーディネーターも自転車安全活動の一翼を担いました。



自転車運転の安全指導



安全講習の説明



自転車の点検活動